

## 市立小中学校適正配置に係る保護者アンケートの実施について（案）

## 調査目的

現在、市は、近年の児童・生徒数の急激な減少の状況に鑑み、子どもたちにとってより良い学校環境を確保するため、小中学校の統合計画である「常総市立小中学校適正配置実施計画」を策定すべく検討を重ねております。実施計画の策定にあたり、市内の小中学校に就学しているお子さんの保護者を対象に、アンケートを実施します。

## 調査方法

小学校・中学校に協力依頼を行い、茨城県電子申請システムのアンケート機能を活用し、アンケートを実施します（ログイン用の URL アドレス、2次元バーコード等を記載した通知文の配布を行います）。

なお、外国籍の方に対しては、時期をずらして、ポルトガル語および英語に翻訳したアンケート用紙（紙媒体）を、学校を通じて配布して、回収を行う予定です。また、この後未就学児対象のアンケートの実施も行ってまいります。

## 調査期間

配布：令和3年〇月〇日（□）から令和3年〇月〇日（□）

回収：令和3年〇月〇日（□）まで

## 調査項目内容

- 回答者の属性（居住校区、子どもの学年）
- 小中学校適正配置に関する意向
- 学校適正配置についての自由意見

問1 お子さんが通われている小学校・中学校はどちらですか（市内19小中学校）※複数選択

問2 お子さんの学年はどちらですか（就学前・小1～中3）※複数選択

問3 現在、市が検討している小中学校適正配置について、どのようにお考えでしょうか。最も近い意見を一つお選びください。

（理解できる・おおむね理解できる・どちらともいえない・あまり理解できない・理解できない）

問4 問3の判断の理由を、以下の中から選択してください。※複数選択、最大3つまで

<小中学校適正配置実施計画に肯定的な理由>

- ①集団の中で、多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が多く、競争心も育成される
- ②運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動に活気が生まれやすい
- ③児童・生徒数、教員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、専科教員による指導など、多様な学習・指導形態が取りやすい
- ④児童・生徒数が多いとクラブ活動や部活動の種類が豊富である
- ⑤クラス替えが柔軟にできることから、人間関係や相互の評価などが固定化されない
- ⑥児童・生徒数が多いと運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動が適している
- ⑦児童・生徒数が多いとPTA活動等における保護者一人あたりに負担が小さい

<小中学校適正配置実施計画に否定的な理由>

- ⑧学校までの距離が遠くなることから、登下校時の安全性が心配
- ⑨児童生徒の増加により、子どもたち一人ひとりの把握が難しくなりやすい
- ⑩学校行事や部活動などにおいて、児童生徒一人ひとりに個別の活動機会を設定しにくい
- ⑪保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい
- ⑫児童・生徒数が多くなってしまうと、児童生徒相互の人間関係が深まりにくい
- ⑬児童・生徒数が多くなってしまうと、異学年間の縦の交流が薄れてしまう

問5 お子さんの通学する学校において、小中学校適正配置の必要性をどのように考えていらっしゃいますか。最も近い意見を一つお選びください。（複数の学校に通われている場合は、平均的な意見をお答えください。）

（すぐに必要、すぐではないが将来的には必要、わからない、あまり必要はない、必要はない）

問6 現在、市が検討している小中学校適正配置の枠組み案についてどう思われますか、最も近い意見を一つお選びください。

（理解できる、おおむね理解できる、どちらともいえない、あまり理解できない、理解できない）

※将来の方向性の図を掲載している市のホームページのURLを掲載。

問7 小中学校適正配置についてのご意見があれば、ご自由に記述ください。